事務事業ID 0055

# 平成 28 年度 **事務事業マネジメントシート**

平成 28 年 5 月 10 日作成

	事務事業名 車両		<b>国</b> 両運行管理事務					□ 実施計画登載事業				□ 合併建設計画登載事業				
	政策名						事業期間 事業期間				予算科目					
政策体	施策名						□ 単:	年度のみ	1161		会計	款	項	目	事業	
体系		3 6 6 2 2 3 3 6 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3					▼ 単年度繰返									
	基本事業名	0 1 自	主財源	原の確保と公	有財産等の適」	正管理 —————		<b>中及标丛</b> (開始	年度	~)						
	根拠法令	総務部財	砂課				<b>一 期</b>	間限定複数	在度		01	02	01	05	05	
見		熊谷 善男						·····································	.十尺							
厚	係 名	車両係				-3111	Ų-	年度		年度						
丰	担当者	今川 寿引							終投入量を記							
					田。期間限定複数 より予約して使用でき				全 行管理	体計		期間限定	複数	年度の	)み)	
· 車	両係が所管する車	両(バス等)を	適正に対	軍行する。					415	財		支出金明支出金		<b>3</b>		
						催認し、当該車両が適正に運行され 斗を確認し、当該車両が適正に運行			る。 松 !	総投事業		方債				
	と中管理車両の整備 中管理車両のタイプ		シンナイ)	ルな婚の業者伝	頼、その消耗品の補	# 本乃び 東 両 絵本の	<b>坐</b> 老	<b>阿笠を滴正</b> に	行う 人情	乗   内   費   訳	そ	の他				
31	集中管理車両の増車	Į.				九及い年    恢重の	未日似	快守と適工に	量			般財源	4		0	
	課等の所管車両を 公用車の小型化	当課に移管し	、集中管	管理車両を増加る	させる。				_			計(A) 従事人数	lt l		0	
•市	の公用車全体の小			//- fefer )								務時間	1			
• 事	業費は、集中管理国	車の燃料代及	び整備	代等である。					~ <u>1</u>	費 .		計 (B)			0	
										トータ	ルコスト	<b>(</b> A)+(B	)		0	
	現状把握の部															
	事務事業の目 手段(主な活動						(5)	活動指標	(事務事業の活	動量を表	(す指標)					
前	年度実績(前年	度に行った						70 20 10 10	名称		( ) 10 136 /			単位	Ī.	
				した。また、庁に	内の各課等の所管	ぎする車両が適	ア		車(財政課で		/、職員	が自由に	۲	台		
止(	こ運行されている	が確認した。	0					予約して連	運行できる車[	両)						
今	年度計画(今年	度に計画し	してい	る主な活動)	)		7 1									
身	ミ中管理車を適正	Eに運行及び			可能な場合には他	也課の車両を集	ゥ						+			
中	管理車へ所管替	えする。											$\perp$			
(2)	対象(誰、何を	対象にして	いるの	のか) * 人や	自然資源等			刈多拍标	(対象の大きさを <b>名利</b>		標)		$\top$	単位	7	
_	、用車	7.13311 - 0			II MOSCHAN 13		, 1	公田亩(II)。	一ス車両を関					台		
								, ., .,	77年間で図	N \ /			+			
							+									
_	意図(この事業						7									
1	・用車の運行管理	里の徹底及で	<b>ド稼働</b>	<b>率を同上させ</b>	<b>ప</b> .		l V	成里指煙	(対象における意	き図の達	成度を表	オお煙)				
							<b>5</b> )	· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	名利	_	.   及しな	(7 ]日1示/		単位	Ī.	
	姓田/甘★市当	<b>坐小辛</b> 回.	上片の	オキ申業に	どのように貢献	ナスのか)		公用車に	占める集中管	で理車の	の率			%		
_					- <b>とのように貝制</b> 才政運営が図られ		\						+			
1							\ <mark> シ</mark>									
							\ <mark> ス</mark>									
(2)	総事業費·指	票等の推移	3				V V									
				年度 単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年	度(実績)	26年度(実	€績)	27年月	度(実績	) 28	年度(	目標)	
	国庫支出			千円									_			
±п.	事源地士馬			千円 千円									+			
	書 記 その他			千円												
投入	一般知识			千円	6,786	6,469		8,336		,614		7,204	_		,680	
量	人 正規職員従事	費計(A) 事人数		千 円 人	6,786	6,469		8,336 2	9,	,614 2		7,204		1	7,680 2	
	件延べ業務時間	間		時 間	2,200	2,200		2,200		,200		2,200		2	2,200	
	費人件費計(E			千円	8,800	8,800		8,800		,800		8,800	_		3,800	
	トータルコ	スト(A)+(B)		千円	15,586	15,269		17,136	18	,414		16,004		16	5,480	
	⑤活動指	堙	アイ	台	17	19		18		19		1	9		15	
	<b>少</b> /11到1日1	环	ゥ										+			
			 カ	台	96	110		111		112		11	3		110	
	⑥対象指標	標	+			110							+			
			ク										1			
			サ	%	17.7	17.3		16.2		17.0		16.	8		17.3	
	⑦成果指	漂	シ													

事務事業ID 事務事業名 0055 車両運行管理事務

# (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

#### ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和27年の市制施行以来、市の公用車の運行を導入し、運行管理することになった。

# ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

平成13年11月の三陸町との合併等により、管理する車両及び業務量が増加した

また、近年の地球温暖化に配慮するため、車両の効率的な運行が求められるようになった。

東日本大震災以降、各方面から自動車の寄附・無償貸与等があり、保有・管理する車両台数が増加した。

## ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

町内会やスポーツ少年団等の団体などから、市バスを運行してほしいとの要望がある。

## 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

#### ① 政策体系との整合性

⇒【理由】 見直し余地がある 結びついている ⇒【理由】

⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?

公用車の効率的な運行と円滑な運行管理は、業務を効率的に遂行するために必要であり、政策体系に結びつ

#### ② 公共関与の妥当性 的

Ħ

妥

当

性

評 佃

有

劾

性

評

率

性

評

⇒【理由】ラ 見直し余地がある ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ✓ 妥当である ⇒【理由】 つ

なぜこの事業を当市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達 成する目的か?

公用車は市の業務に利用するものであり、集中管理による効率化を市が行うことは妥当である。

# ③ 対象・意図の妥当性

⇒【理由】 ラ 見直し余地がある ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ✓ 適切である ⇒【理由】□

対象を限定・追加すべきか?意図を

各課の所管車両を、さらに集中管理車化することにより、稼働率を向上させ、効率的な運行が可能となる。

限定・拡充すべきか?

#### ④ 成果の向上余地

**⇒【理由】**¬ 向上余地がある ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ✓ 向上余地がない ⇒【理由】□

成果を向上させる余地はあるか?成 果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が 期待できないのか?

集中管理化できる車両を、随時、所管替えしており、現在、各課で保有する車両は必要最小限の台数となってい

# ⑤ 廃止・休止の成果への影響

影響無 ⇒【理由】 ✓ 影響有 ⇒【その内容】

当該事業は、各課の事務事業に密接な関わりがあることから、廃止した場合は市全体の業務に支障をきたすこと になる。また、各課がそれぞれ車両を所有した場合は稼働率が低下し、トータル的に公用車数が増加してしまう恐

事務事業を廃止・休止した場合の影 響の有無とその内容は?

⑥ 類似事業との統廃合・連携の □ 他に手段がある □ (具体的な手段,事務事業)

れがある。

# 可能性

目的を達成するには, この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業と の統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上 が期待できるか?

統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 →

類似事業はない。

▶ 他に手段がない ⇒【理由】 🗳

### ⑦ 事業費の削減余地

⇒【理由】 削減余地がある

⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 削減余地がない ⇒【理由】"

成果を下げずに事業費を削減できな いか?(仕様や工法の適正化、住民 の協力など)

既存車両は、老朽化している車両が多く、その修繕費が嵩む傾向にあり、車両管理費の削減は非常に難しい状況であ る。しかし、老朽化に伴う公用車の買換え時には、燃費や環境に配慮した低公害車(ハイリット自動車など)の導入を推進し ており、一時的に購入費が発生するものの、燃料費の削減につながっている。また、集中管理車化を進め、市全体として 公用車の稼働率を上げることで、保有台数の削減が可能となり、経費の削減につながる。

#### 性 8) 人件費(延べ業務時間)の削 評 減余地 佃

削減余地がある ▼ 削減余地がない

⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ⇒【理由】□

やり方を工夫して延べ業務時間を削 減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできない か? (アウトソーシングなど)

運転業務など一部を民間委託することは可能と考えられるが、公用車全体の管理には正職員が必要である。

#### ⑨ 受益機会・費用負担の適正 公 化余地 4

見直し余地がある **⇒【理由】**¬ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ▽ 公平・公正である ⇒【理由】ラ

事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?

受益者負担は生じない。

事務事業ID 0055	事務事業名 <mark>車両運行管理事</mark>	事務							
3 評価結果の総括と今後の	- )方向性(次年度計画と予算への反明	央)(PLAN)							
(1) 1次評価者としての評価組	結果 (2枚目と整合を図ること)	(2)全体総括(振り返り、反省							
① 目的妥当性	しては、中土体の公司をついる。								
② 有効性									
③ 効率性									
④ 公平性	☑ 適切 □ 見直し余地あり	_							
(3) 次年度の方向性(改革改	善案)・・・複数選択可(ただし、廃止	・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果						
□ 廃止 □ 休止 □ 事業のやり方改善 ( □	目的再設定 ■ 事業統合・連携 有効性改善 <b>▽</b> 効率性改善 ■	现状維持 公平性改善)	左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)						
化を進めていく。 当該事業においては、管理 することになるが、市全体の2	ま、グレーダーやトラクター以外のものにっ !車両の増加により効率な運用が可能とな	らり、当該事業単独としてのコストは増加	コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 低 下 × ×						
現状では、各課の所管車両 理費の削減を進める。 集中管理車は年間走行距	iを集中管理車化するのは難しい状況だだ	が、全庁的なコンセンサスを得て、徐々め、消耗が激しく、修理費用が増加して	に集中管理車化を図り、市全体の車両管 いる。そのため、将来的には車両をリース						
		(職 名) ※原則として施策の主							
4 事務事業の2次評価結果 (1) 1次評価結果の客観性と		<b>平価者</b> 財政課長	熊谷善男						
□ 記述不足でわかりに □ 一部記述不足のとこ □ 記述は十分なされて ②評価の客観性水準(2) □ 客観性を欠いており □ 一部に客観性を欠り	ころがある こいる 欠評価を行った後に総合的に判断し J評価が偏っている(事務事業の問題	<b>夏点、課題が認識されてない</b> )							
(2) 2次評価者としての評価		(3) 評価結果の根拠と理由							
① 目的妥当性	『本 ☑ 適切 □ 見直し余地あり	東日本大震災からの復興事業	に対応するため、公用車の台数が増加し などまして別なれる。(4)						
② 有効性	注車、小型化及び低燃費化とともに、集 三実施する必要がある。								
③ 効率性									
<u> </u>	図	<b>–</b> [							
		- 什 - 現状继续はま物です	(5)改革・改善による期待成果						
■ 廃止 ■ 休止 ■ 事業のやり方改善 ( ▼ (上記方向性に対する具付) 引き続き公用車の小型化、仮		现状維持 公平性改善)	左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる。また、1次評価と内容が異なる。場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)						
5 最終評価結果									
(1) 行政経営推進会議等での	)指摘事項								